

# 図書館だより

## 6月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	16	17	18	19	20
22	⑳	23	24	25	26	⑳
29	㉓	30				

○印 休館日  
月曜日・月末館内整理日(27日)

梅雨は、六月十一、二日の日から三十日間を言う。五月雨の時節では、暦の上では、入梅・出梅の日のはつきりしているが、気象上の梅雨はかならずしも一定せず、五月雨そのものを梅雨と言っている。梅の実が黄熟するころ降るので、梅雨と言いい、物みな黴を生ずるので黴雨とも書く。

〔最新俳句歳時記より〕

## 今月の新刊案内

### ◆ 一般 図書

インターネット時代の情報探索術  
大串夏身

日本とは何かということ  
司馬遼太郎ほか

銅鐸の絵を読み解く  
国立歴史民俗博物館

謎解き中世史  
今谷 明

十二人の賓客 ドナルド・リチー  
毎日新聞社

日本三百名山

衣桁(いかり)がけ我よればなまき梅雨かな  
蛇 芳

日本の研究 猪瀬直樹  
立花隆の同時代ノート 立花 隆  
ボスニア戦争とヨーロッパ N・ステファノフ  
シユタイナー再発見の旅 子安美知子

21世紀のお墓事情 講談社  
専門医がやさしく教える中性脂肪 西崎 統

火星の人類学者 オリヴァー・サククス  
厚生省AIDSファイル 保坂涉

『室内』40年 山本夏彦  
大名庭園 白幡洋三郎

仏像のやさしい見方 岩崎和子  
望郷歌謡曲考 藤井淑禎

トニー谷、ざんす 村松友視  
甲子園野球と日本人 有山輝雄

アメリカ語ものがたり1・2 ビル・ブライソン  
濱沢竜彦の少年世界 濱沢幸子

空白の瞬間 安西篤子  
疫病神 黒川博行

見上げれば あ、雲 小嵐九八郎

高麗奔流 深田祐介  
樹下の想い 藤田宜永  
くつすん大黒 町田 康  
美女 連城三紀彦  
本の運命 井上ひさし

蛙の子は蛙の子 阿川弘之  
外二二二冊

## ◆ 児童 図書

よんでよんでトーク 4〜6  
あこがれはマンガ家 ティッシュの実験  
ニホンザルの山

こんなとき、どうするの？  
生活でつかうもの トウモロコシの絵本  
あいの生葉染め絵本

ぼくのわがまま電池  
両手のなかの海  
としばあちゃんのオムレツ作戦

テッサのお金もうけ  
ふたりいっしょだねちいこくん  
いろいろあるんだ

外八六冊

## 子どもにすすめたい本 展示会

昨年出版された子どもの本のうち、『山梨県公共図書館協会員』が推薦した図書100冊を、幼児から中学生まで対象別に展示します。  
この機会に子どもが本に親しみ、一般の方々にも子どもの図書への理解と関心を深めていただきたいと思います。気軽にご来館ください。

日程 6月5日～18日  
場所 市立図書館ロビー  
後援 県立図書館

※なお、会場では本の内容を簡単に説明した目録をさしあげます。  
問合先 市立図書館  
☎ (43)1324

## 心の健康シリーズ(50)

### 親子の信頼関係こそ 子どもの非行を防ぐ

子どもは、自分が不利になると「うそ」をついたり、「かくしごと」をしたりして、その場をごまかしますが、それがわかった時子どもも親も気まずい思いになりますし、特に親は、わが子を信じていただけに裏切られた思いで大きなショックを受けてしまい、わが子でありながら全て疑念が生じ、円滑な親子関係がこわれてしまいます。

そこで、「うそ」をつかずにすむ、正直に本当のことが言える関係をつくるのが大切です。

それには、親が子どもに対して自分の意見をいつも言っておくことです。常に「お母さんはこう思うよ」、「こうすればもっとよくなると思うよ」、「お前がこうしてくれれば、お母さん助かるけどね」と意見なり、気持ちなどを言っておくのです。こうすることによって親の気持ちも伝わり、子どもも「私を大切に思ってくれている」とか「私をみんなが必要としているんだ」「家族の役に立っているんだ」と考え、親子、

家族の信頼関係が深まり、「うそ」のない親子関係が保たれます。以前、あるお母さんから「娘がうそつきで困っている」という話を聞きました。話の内容は、中学生の娘が塾に通っているふりを

して母親を安心させ、塾の先生には母親が入院したので、しばらく休ませてほしいと言って遊び歩いていたとのことでした。

その中学生の女の子も本当は、塾の先生にも母親にも「塾には行きたくない、やめたい」と言いたかったのでしょう。しかし、塾の先生にも母親にも自分の本当の気持ちを抑える関係がなかったために彼女は苦しまざれにうそをついたのではないのでしょうか。

このような場合、親は子どもの非を責めたくありませんが、親は責めるのではなく、これからは娘が正直に本当のことを親に言える関係をつくるのが大事なことです。

なんでも言いあえるような親子関係をつくること、それがうそをなくし、子どもが正直に本心を明かして自立していく第一歩なのです。

また、親子の信頼関係を深めるには「いい夫婦」であることが大切です。子どもが成長する過程では家族、地域、友達等周囲の影響を受けますが、中でも親の影響が最も大きいのは事実です。いざこざの多い家庭の子と平和な家庭の子では性格的にも随分違ってきます。

夫婦が仲良く話し、遊びあえる家庭なら信頼関係も育まれ、そうした環境の中に育てられる子どもは、親を信頼し、うそやかくしごとのない楽しい親子関係がつけられていきます。